

表現運動

表現運動について



●●●このような領域です●●●

- 自己の心身を解き放して、リズムやイメージの世界に没入してなりきって踊ることが楽しい運動であり、互いのよさを生かし合って仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことができる運動です。
- 身近な生活などから題材を選んで表したいイメージや思いを表現します。
- 伝承された踊りを身に付けて、みんなで一緒に踊ります。

→ 解説P.18・19

●●●このような内容の構成です●●●

低学年	中学年	高学年
表現リズム遊び	表現運動	表現運動
表現遊び	表現	表現
リズム遊び	リズムダンス	フォークダンス

「内容の取扱い」により

※含む～簡単なフォークダンス(リズム遊び)	※加えて～フォークダンス	※加えて～リズムダンス
-----------------------	--------------	-------------

●●●このような内容を指導します●●● → 解説P.75～78

(1) 技能

次の運動の楽しさや喜びに触れ、表したい感じを表現したり踊りの特徴をとらえたりして踊ることができるようにする。

- ア 表現では、いろいろな題材から表したいイメージをとらえ、即興的な表現や、簡単なひとまとまりの表現で踊ること。
- イ フォークダンスでは、踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ること。

〈簡単なひとまとまりの表現〉とは…
作品を意図している場合に用い、「はじめ～なか～おわり」の構成を工夫して表現することです。

日本の民謡

阿波踊り ソーラン節 エイサー

外国のフォークダンス

マイム・マイム コロブチカ
グスタフス・スコール



いろいろな題材とは…

- ◇激しい感じの題材
『激しく〇〇する』(満員電車、火山の爆発、嵐の中の難破船…)
『急に〇〇する』(コンピューターが壊れた、稲妻が走る、怒りの爆発…)
- ◇群(集団)が生きる題材
『祭り』『スポーツの攻防』『街の風景』
- ◇多様な題材
『私たちの地球』『小学校の思い出』



- 〈約束の例〉
- ・ふざけない
 - ・笑わない
 - ・冷やかさない
 - ・恥ずかしがらない



(2) 態度

- 運動に進んで取り組むこと。
- 友達と助け合って練習や発表、交流をすること。
- 場の安全に気を配ること。

(3) 思考・判断

- 自分やグループの課題の解決に向けて、練習や発表の仕方を工夫すること。

- 自分やグループの課題に応じた
- 動きを選びます
 - ・みこしの動きは上下がいいな。
 - ・花火は一気にジャンプしよう。
 - 構成を変えます
 - ・打ち上げ花火で始めよう。
 - ・大きな太鼓を真ん中に、周りは小さい太鼓のかけ合いをしよう。



授業づくりの視点

●●● 授業づくりの考え方 ●●● → 解説P.19・76・77

表 現

表したい感じやイメージを強調するように、変化を付けたひと流れの動きで即興的に表現したり、グループで「はじめーなかーおわり」を付けた簡単なひとままとまりの動きにしたりして表現します。高学年なので、群(集団)の動きにして、友達と感じを込めて踊ることを指導します。

フォークダンス

型が決められている定形の踊り方を再現して踊ります。踊り方の特徴をとらえ、基本的なステップや動きを身に付けて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができるようにします。また、踊りを通して日本のいろいろな地域や世界の文化に触れることも大切です。

●●● こんなところがポイントです ●●●

いきいきと踊るために実態に合った題材を選ぶ

■高学年の発達の段階を十分に踏まえて…

- 社会や日常的印象的な出来事、関心のあるテーマ等、抽象の題材へと発展させましょう。
- 地域で親しまれている踊りを取り上げると、地域との連携も出てくるでしょう。
- 経験が十分でない場合には中学年の題材から入っていくのも一つの方法です。 → 解説P.76・77 参照

イメージをふくらませ、動きを引き出すために言葉をがけを工夫する

■題材が抽象的になったり、思いを表現したりするので…

- 一人一人の児童の動きを認めましょう。
- 何気ない動きを取り上げて、大げさにほめましょう。
- 動きのヒントや感じを強める言葉もたくさん用意しましょう。



大切なのはイメージがふくらむ言葉です。

教師も児童と一緒に動いてみると、児童も動きやすくなります。

表現しやすくするために準備運動で心と体を十分にほぐす

- 低・中学年で経験の差を踏まえて…
 - 導入では、特に心をほぐす活動を取り入れましょう。
 - 場合によっては、授業の途中に体ほぐしの運動を取り入れていくことも必要です。
 - 踊る気分を高め、自由に動ける雰囲気づくりを心がけましょう。



●●● 2年間の計画を考えます ●●●

< A校の場合 > 内容を2学年で分けて取り上げる計画例 は5年生 は6年生

1～6	7～15
フォークダンス⑦ ○地域で親しまれている踊り④ ○外国のフォークダンス③ ・踊りを覚える(由来等も含めて) ・交流会 (総合的な学習と関連させることもできる)	表現⑧ ○激しい感じの題材や群が生きる題材④ ・ひと流れの動きで即興的に ・簡単な群の動きで即興的に ○多様な題材④ ・「はじめーなかーおわり」を付けた簡単なひとままとまりの動きにして

グループ独自の作品を創り、発表できるようにします。



地域に根ざした踊りがない場合は、日本の代表的な民踊を取り上げます。

< B校の場合 > 題材を2学年で分けて取り上げる計画例

1～5	6～8	9～11	12～17
表現⑤ ○激しい感じの題材 ・ひと流れの動きで即興的に ・簡単なひとままとまりの動きにして	フォークダンス③ ○外国のフォークダンス ・踊りを覚える(由来等も含めて) ・交流会	フォークダンス③ ○日本の民謡 ・踊りを覚える(由来等も含めて) ・交流会	表現⑥ ○群が生きる題材 ○多様な題材 ・「はじめーなかーおわり」を付けた簡単なひとままとまりの動きにして

中学校へのつながりを考えて、「ひとままとまりの動き」をしっかりおさえます。

表現

具体的な指導内容



表現では

「激しい感じの題材」「群(集団)が生きる題材」「多様な題材」などを取り上げ、表したい感じやイメージの特徴をとらえ、即興的に表現したり、ひとまとまりの動きにしたりして表現します。その際、変化や起伏のある動きを取り入れ、表したいイメージを強調するように工夫していきます。さらに、グループで「はじめ—なか—おわり」を付けた簡単なひとまとまりの群の動きにして、感じを込めた表現にしていけることが大切です。 → 解説 P.76

解説に例示として示されている題材と動き(抜粋) → 解説 P.76

激しい感じの題材 【例】火山の爆発

<変化や起伏のある動き>



火山が激しく爆発する。



急に雷が落ちる。



群(集団)が生きる題材 【例】祭り～花火大会～

<激しい感じや急変する感じをひと流れの動きで>



素早く走る



急に止まる



回ったり、転がったり、体をねじったりする



跳ぶ



多様な題材 【例】地球の誕生

<「はじめ—なか—おわり」を付けた簡単なひとまとまりの動き>

学級のテーマ「地球の誕生」

- 各グループのテーマ
- ・草木等の生命の誕生
 - ・火山の爆発
 - ・大陸の移動 等



合わせて



交互に



集まる—離れる



順番に



ばらばらに

【火山の爆発】グループ

はじめ

- ・のどかな自然。のんびり餌を食べる動物たちがいる。
- ※ゆったりとした大きな動きで表そう。

なか

- ・あっ、小さな地震だ。
- ・火山の爆発がだんだん大きくなっていく。大爆発だ!!
- ※集まった状態から少しずつ動き出そう。爆発がいったん落ち着くところを入れたり、四方八方に飛び散ったりして、だんだん大きな爆発にしていこう。

おわり




- ・噴火してマグマがゆっくり流れていくよ。そして、固まるよ。
- ※マグマが勢よく跳び出して、ゆっくりと流れるように動こう。

簡単な群の動き

授業づくりの留意点

指導の充実のために → 解説 P.76・表現 V

いきいきと踊るために実態に合った題材を選ぶ

 <p>激しい感じの題材</p> <p>自然 いなずま、暴風雨、火山</p> <p>生活 沸騰するお湯、目覚まし時計、バーゲンセール</p>	 <p>群(集団)が生きる題材</p> <p>社会や生活 祭り→花火、ししまい、みこし スポーツ→バスケットボール、シンクロ 街の風景→ビルの建設、落ち葉</p>	 <p>多様な題材</p> <p>印象的な出来事 総合的な学習→環境問題、異文化交流 宿泊活動→荒れ狂う海、大自然 修学旅行→大仏の建設、戦争への怒り</p>
--	--	--

イメージをふくらませ、動きを引き出すために言葉がけを工夫する

例) 嵐の中の難破船

○題材のイメージを広げる。

嵐ってどんな様子かな。
みんなが描いたイメージカードを見てみよう。

<イメージが広がらないときは>

絵や映像を見てみよう。どんな音が聞こえてくるかな。

ヒューヒュー…何だか不気味な音がしてきたよ。
だんだん激しくなってきた。飛ばされる～。
ザ～、ザザザ～、波がすごいぞ。大変、船がひっくり返る!

○児童の動きのよさを取り上げる。

・○○さんの波は大きく揺れていていいね。さっきと何を変えたの？

・波がだんだん大きくなっていくのが分かるよ。きつと順々に動いたからだね。

・○○グループのように人数を変えると風の強さも変わるね。

○自分たちの動きを振り返る場を設定する。



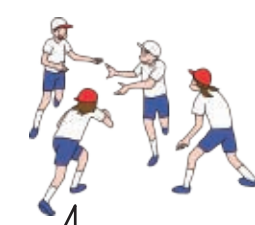


・今の動きは○○でいいね。
・もう少し○○するともっと迫力がでるね。




※ 児童の動きのよさを全体へ広げながら、表したい感じを強調できるよう「動きを強めたり広げたりする言葉」をかける。

※ 高学年の児童は、他者からの評価をもとに自分の姿を見つめることもできるので、友達のアドバイスも大切に。

表現しやすいように準備運動で心と体を十分にほぐす

<p>イントロジェスチャー</p>  <p>始めは教師がリーダー。みんなで「トントントン何の音？」と聞く。「風の音」と言ったらみんなで口伴奏をしながら風になって動く。授業に関連した動きを入れていくと本題に入りやすい。</p>	<p>新聞紙にへーんしん</p>  <p>新聞紙を準備する。一人が新聞紙を動かし、もう一人はその動きを真似していく。新聞紙を動かす方は、たたんだり、丸めたり、よじったり…と様々な動きがでてくるように工夫する。 ※ボールや傘、ひも等も同様に使える。</p>	<p>エアワールド</p>  <p>2人組やグループで、縄跳やドッジボール、バスケットボールなど、本物の道具を使ってやっているように動く。普段何気ない生活からの題材に関係した動きを入れると、「スポーツ」等の題材に入りやすい。</p>
--	---	--

児童のこんな姿を目指します

<p>次第に火山が噴火していく場面を、体を大きくうねらせたり、ジャンプする高さを変えたりしながらとまとまりの動きができました。</p> 	<p>自分たちの動きがイメージに合っているかをビデオで確認しながら、お互いのよいところを出し合いました。</p> 	<p>私たちのグループは、火山が次第に噴火する様子を、集まったところから四方八方に飛び散る動きによって工夫しました。</p> 
---	--	--

体づくり
器械
陸上
水泳
ボール
表現